

令和6年度 やまなしエコ通勤・エコ通学 トライアルウィーク 実施状況



1. 参加申し込み状況

申し込みと現在の通勤状況

申し込み	従業員数	マイカー通勤
29	8,606	6,513

- ・エコ通勤トライアルウィークへの参加申し込みのあった事業所数は29事業所。
- ・参加事業所に勤務する8,606人のうち6,513人(75.7%)が現在マイカーで通勤。

ステップ1 エコ通勤PR取り組み状況

メール等	掲示等	会議等	個別	その他
14	31	6	5	3

- ・PRの方法は、各事業所で、効果的な方法を選択してもらい、内訳は
 - 「メール・インターネットなどで案内」 14事業所
 - 「掲示物・職場内回覧などで周知」 31事業所
 - 「会議・朝礼などで呼びかけ」 6事業所
 - 「マイカー通勤者に個別に働きかけ」 5事業所
 - その他（担当職員が各課等を訪問し呼びかけ） 3事業所

ステップ2 エコ通勤転換予定者数

徒歩	自転車	公共交通	その他	計
99	89	118	63	369

- ・期間中は参加事業所のマイカー通勤者6,513人のうち、369人(5.5%)がエコ通勤にチャレンジ。
- ・エコ通勤の種別ごとの転換者数は
 - 「徒歩通勤にチャレンジ」 99人(26.8%)
 - 「自転車通勤にチャレンジ」 89人(24.1%)
 - 「公共交通通勤にチャレンジ」 118人(32.0%)
 - 「その他のエコ通勤にチャレンジ」 63人(17.1%)
- ・「その他のエコ通勤」の84人は「マイカーによる乗り合わせ通勤」を実施予定。

ステップ3 ワンコインエコチケット配布数

チケット計	実人数
746	168

・配布対象者別内訳

	チケット	実人数
公共交通にチャレンジ	578	83
自転車通勤にチャレンジ	168	85
計	746	168

- ・昨年度に引き続き、自転車通勤にチャレンジする方に雨天対応用として1日分のエコチケットを配布。

- ・期間中、1乗車100円で路線バスを利用可能な「ワンコインエコチケット」の配付枚数は746枚。
- ・うち、バス通勤にチャレンジする方の分が578枚、自転車通勤にチャレンジする方の雨天のバス対応分が168枚
- ・エコチケットを配付する実人数は168人で、うちバス通勤にチャレンジする者が83名、自転車通勤にチャレンジする方が85名

2. 期間中の取り組み状況

バス事業者からのエコチケット利用状況

3月3日	17
3月4日	19
3月5日	17
3月6日	12
3月7日	15
3月8日	3
3月9日	3
合計	86

- ・期間中のワンコインエコチケットの利用数は86枚で、配付数746枚の11.5%。
- ・エコチケット利用率が低かったが、自転車通勤にチャレンジする方に一日配布したチケットが利用されなかったことに加え、雪等の天候による影響が大きな要因と考えられる。

参加事業所からの実績報告

	徒歩	自転車	公共交通	その他	計
3月3日	70	62	59	17	208
3月4日	68	59	58	17	202
3月5日	74	59	61	23	217
3月6日	63	72	63	15	213
3月7日	66	74	69	20	229
3月8日	14	15	21	8	58
3月9日	13	10	16	5	44
合計	368	351	347	105	1,171

- ・期間中にエコ通勤に取り組んだと報告のあったのは延べ1,171回。
- ・参加申し込みのあった369人が、期間中に平均3.2回のエコ通勤を実施した。

参加者からの代表的な意見

○肯定的な感想

- ・通勤方法をみなおすきっかけになった。
- ・朝は道が混むため車だと時間が気になるが、自転車はその心配がない。
- ・車よりも電車の方が朝の渋滞を避けられるので楽だった。
- ・車通勤では見えなかった景色や風景を感じることができた。
- ・健康増進につながり、朝から体を動かすことによって、清々しい気持ちで仕事に望めた。
- ・運動不足の解消になり、有意義に過ごすことができた。
- ・交通手段の参考になった。
- ・生活の一部に運動を取り入れることもできるので、健康増進に効果があると思う。
- ・電車は、車などに比べ時間が正確なのが良い。

○否定的な感想

- ・日々の業務に追われ、転換が難しい。
- ・公共交通機関は時間に縛りがあるため、急用時に対応が困る時がある
- ・天気が悪い日は大変だった。
- ・残業すると便がなくなる。

○参加理由

- ・公共交通で通ってみたかったため。
- ・気分転換になるかと思い参加。
- ・日頃から徒歩通勤をしたくて、この機会にチャレンジした。
- ・環境にいいことをしたいと思ったから。

○不参加理由

- ・通勤に適したバスや電車がいない。
- ・雪のため参加できなかった。
- ・公共交通の方が時間がかかってしまうため。
- ・現状より通勤に時間がかかってしまう。

○転換への課題

- ・特に帰りの時間のバスが少なく、利用しにくかった。
- ・自宅から職場まで距離があり切り替えるのは難しい。
- ・バスと電車の接続が悪く利用しにくい。
- ・通勤の時間帯に最寄りのバス停からのバスがない。
- ・自宅や勤務先の近くにバス停がない。
- ・利用が多い朝夕の時間帯に本数が多いと利用しやすい。
- ・もう少し実施期間を長くしてほしい。

3. 参加事業所（※公表不可の事業所は除く）順不同

日東建設株式会社

（株）ふじでん

山梨信用金庫

日本年金機構大月事務所

やまなし産業支援機構

山梨運輸支局

甲府市役所

富士吉田市役所

都留市役所

大月市役所

韮崎市役所

南アルプス市役所

北杜市役所

甲斐市役所

笛吹市役所

市川三郷町役場

富士河口湖町役場

鳴沢村役場

山梨県立北杜高等学校

富士・東部教育事務所

就業支援センター

峡南林務環境事務所

山梨県庁